

◆岩木川改修記念碑の復元をお披露目◆

青森県西部に広がる津軽地方を貫流し、県内最大である岩木川の直轄改修は、ちょうど100年前の大正7年12月1日に、五所川原町(現五所川原市)の当出張所があるこの場所へ、内務省秋田出張所の岩木川改修事務所が開設されてスタートしています。これに因んで、青森河川国道事務所五所川原出張所構内へ、大正10年9月15日の起工式で建立された『記念碑』が、岩木川改修100周年記念事業の一環として復元されました。その除幕式が8月4日(土)に開催(写真左下)され、実行委員会会長である佐々木五所川原市長(写真右下)をはじめ、関係者約80名が出席して、執り行なわれたものです。

この復元された『記念碑』は、岩木川改修期成同盟会(明治43年設立)が、改修工事の着手を記念して、前五所川原市役所に隣接する消防署付近に建立されましたが、移設時の損傷等により、五所川原市が保管しておりました。



式典では上写真のとおり、青森河川国道事務所の巖倉事務所長から、これまでの100年間で取り組まれた事業について、経過等を報告いただきました。そして、岩木川におけ

る水害の歴史を後世に伝え、次の新たな100年を「地域と共に考えるシンボル」とする“復元の意義”を説明いただきました。

こうした栄えある石碑が、構内に設置されたことを、五所川原出張所の関係者一同は深く感謝し、良好な維持管理と地域の防災に努めてまいります。

ありがとうございました。